

新年のごあいさつ

今年は市制施行75周年



小野塚市長

謹んで新年のお慶びを申し上げます。所沢市長の小野塚勝俊でございます。

私が市長の任を賜りまして、1年2カ月が経ちました。この間、市民の皆さまのご理解・ご協力のもと、市政運営を担わせていただきましたことに、心より深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、9月に開催されたパリパラリンピックにおいて、所沢市ゆかりのアスリートの皆さまが、全国の市で最多となる3個の金メダルを獲得されました。

同月には、所沢駅西口に大型商業施設「エミテラス所沢」が開業し、予想を上回る多くの方々にお越しいただくなど、所沢市は大変活気ある年となりました。

市政におきましては、小・中学校の給食費無料化(1月)、18歳までの医療費無料化(10月)、

ふるさと納税の返礼品再開(11月)、新たに3名の観光大使をお迎えしました。他にも、所沢市独自の保健所設置などに向け『中核市移行に関する調査報告書』を取りまとめ(6月)、それに続く『基本方針』も現在策定中です。さらに「子どもを中心としたまちづくり」をリーディングプロジェクトの中心に据えた『第6次所沢市総合計画後期基本計画』も市議会にご承認(12月)いただきました。

そして本年、所沢市は市制施行75周年！引き続き、所沢市は、市民の皆さまお一人おひとりにとってやりたいことができるまち、「可能性が広がるまち日本一」を目指してまいります。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

特集

2025年は楽しくお得に！ 食品をレスキューしませんか？

私たちは
ところざわ食品
レスキューレンジャー！



「日本では、1日におにぎり1個分の食品を捨てている」…まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」問題。今回は、楽しみながら食品ロスを減らせる取り組みをご紹介します。
☎資源循環推進課 ☎ 2998-9146

「食品ロス」問題ってなんのこと？

日本の現状…

令和4年度の食品ロスの量は、日本全体で約472万トン(うち家庭から約236万トン、事業系から約236万トン)。国民1人当たり換算すると、1日でおにぎり約1個分を廃棄している計算になります。

食品ロスの量が多いほど、処理にか

かる費用の増加や、大量のごみを燃やすことによる地球温暖化への影響など、さまざまな問題が起こります。

本特集の「レスキュー」を取り入れて、楽しく、お得に、食品ロス問題に向き合ってみませんか？

捨てないで…



ちょっと待ったー！

食品ロスは許さない！
私たちと一緒に
食品をレスキューしよう！



レスキュー

1 飲食店でも食べ残しゼロ！

「食品ロスゼロのまち協力店」を利用しよう

いつも量が多くて食べきれない…、注文しすぎちゃったから持って帰りたい…。そんな経験ありませんか？

「食品ロスゼロのまち協力店」では、食べきりサイズでの提供や、お持ち帰り希望者への対応、食べきりタイムの推奨など、食品ロス削減に積極的に取り組んでいます。

近所の協力店を探してみましょう！



▲協力店には、このステッカーやポスターが掲示されています。



▲協力店は市HPからご確認ください。

「食べきりタイム」ってなに？

宴会が終わる15分前は「食べきりタイム」。自分の席に戻って、おいしい料理を残さず食べきりましょう。

